

普段のあなたのご様子について

以下には、みなさんがご自分の態度、考え方、関心のあること、その他の個人的な感情を表すために使うことのある文が記載されています。これらの文に、あなたがどのくらいあてはまるかを4つの答から1つ選んで、その数字を○で囲んで下さい。正しい答えとか間違った答えはありません。あなた自身の意見と感じ方をお答え下さい。

全然あてはまらない	あまりあてはまらない	少しあてはまる	とてもあてはまる
1	2	3	4

1	時間を無駄にしても、スリルのために新しいことをやってみる	1	2	3	4
2	他の人が心配するような状況にあっても、私には全て上手くゆくだろうという自信がある	1	2	3	4
3	まわりの環境のせいで、自分が犠牲になっていると感じることがある	1	2	3	4
4	自分とはかなり違うタイプの人をありのまま受け入れることができる	1	2	3	4
5	私を傷つけた人に、仕返しをするのは楽しい	1	2	3	4
6	自分の人生には目的や意味がほとんどないと感じることもある	1	2	3	4
7	皆のためになるような問題の解決策を見つける手助けをすることが好きだ	1	2	3	4
8	今よりもっと頑張るだろうけれど、それほど一生懸命やる必要はないと思う	1	2	3	4
9	慣れない環境では緊張したり心配したりする	1	2	3	4
10	やり方を決めるときは、以前にどうやって決めたかを考えずその時の気分で決める	1	2	3	4
11	人の希望に従うよりも、自分自身のやり方で物事を進める	1	2	3	4
12	自分と違う考えをもっている人々はあまり好きではない	1	2	3	4
13	たとえ古くからの友達の信頼を失うとしても、自分が金持ちや有名になるためには、法に触れないかぎり何でもする	1	2	3	4
14	どちらかという控えめで落ち着いた	1	2	3	4
15	自分の経験や感情を自分の中にしまい込むよりオープンに友達と話し合うことが好きだ	1	2	3	4
16	精力がなく、人よりも早く疲れてしまう	1	2	3	4
17	「自分のしたいことができる自由」というものをめったに感じない	1	2	3	4
18	自分のことと同じくらい他の人の気持ちを考える	1	2	3	4
19	初対面の人はどうも信用できないので、面識のない人に会うのをなるべく避けている	1	2	3	4
20	出来るだけ人を喜ばすことが好きだ	1	2	3	4
21	「自分が他の人よりも頭が良かったらなあ」と思うことがある	1	2	3	4
22	他の人がとっくにあきらめるようなときでも一度始めたことは辛抱強く続ける	1	2	3	4
23	自分の問題を解決してくれる人が現れないかと期待することがある	1	2	3	4
24	現金をすっかり使い果してしまうことがある	1	2	3	4
25	リラックスしているときに、不意に良いアイデアが浮かぶことがある	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

全然 あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまる	とても あてはまる
1	2	3	4

26	他の人が私をどう思うかあまり気にかけない	1	2	3	4
27	すべての人を満足させることは無理なので、他の人の希望にかかわらず自分自身が欲しいものを手に入れる努力をしている	1	2	3	4
28	私の考え方を受け入れない人には我慢できない	1	2	3	4
29	あらゆるものが、一つの生命体の一部であると思えるほど、自分が自然と大変強く結びついていると感ずることがある	1	2	3	4
30	面識のない人と会う時には、他の人よりも恥ずかしがり屋であると思う	1	2	3	4
31	他の人よりも情にもろい	1	2	3	4
32	私にはこれから何が起ころうとしているのかわかる時がある	1	2	3	4
33	誰かが、どんな方法にせよ、わたしのことを傷つければ、仕返しをするようにしている	1	2	3	4
34	私の態度はコントロールできない力によって決められている	1	2	3	4
35	他の誰よりも強かったらなあと思うことがある	1	2	3	4
36	物事を決める前には良く考えるようにしている	1	2	3	4
37	たいいていの人よりも努力するほうだ	1	2	3	4
38	身の危険を感じるような時でも、たいいてい落ち着いていられる	1	2	3	4
39	自分のことを自分でできないような人を助けることは賢明だと思わない	1	2	3	4
40	他の人が自分に不公平に接しているからといって、自分もその人を不公平に扱ったなら、心の平和は保てない	1	2	3	4
41	まわりの人が自分の気持ちを私に話してくれる	1	2	3	4
42	自分のことを、何かもっと大きなものの一部のように感じる時がある	1	2	3	4
43	言葉では説明できないような、他の人との精神的なつながりを感じる	1	2	3	4
44	規則などないままで物事を進められると良い	1	2	3	4
45	初対面の人と会うとき、たとえその人が親切でない人から聞いていても、私はいつものように振る舞えるだろう	1	2	3	4
46	起きるかもしれないトラブルについて他の人よりも心配している	1	2	3	4
47	決心する前にあらゆる事柄を十分に検討する方だ	1	2	3	4
48	スーパーマンのような特別な力があつたらなあと思う時がある	1	2	3	4
49	他の人が私をコントロールしすぎている	1	2	3	4
50	自分が学んできたことを他の人と分かち合うことが好きだ	1	2	3	4
51	私の嘘や誇張を他の人に信用させることが出来る	1	2	3	4
52	私の人生はどんな人間よりも強い霊的な力に導かれていると感ずることがある	1	2	3	4
53	現実的で、感情では行動しない人間だと言われている	1	2	3	4
54	情に訴えられると弱い方だ	1	2	3	4
55	物事を出来る限り立派にやりたいので、たいいていの人よりも一生懸命やっている	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

全然 あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまる	とても あてはまる
1	2	3	4

56	私には欠点がとても多いので、自分のことを大好きにはなれない	1	2	3	4
57	時間がないので、自分の問題を長い目で見た解決方法を見つけられない	1	2	3	4
58	どうしていいのかわからずに、問題を処理できないことがある	1	2	3	4
59	お金は貯めるよりも使うほうが好きだ	1	2	3	4
60	話を大きくして、面白くしたり、人をからかったりするのが得意である	1	2	3	4
61	人前でうろたえるようなことや、屈辱を受けたりするようなことがあっても、すぐそれを忘れてしまう	1	2	3	4
62	いつものやり方を変えようとする、緊張したり、疲れたり、心配になったりする、とても変えられない	1	2	3	4
63	きちんとした理由がなければ今までのやり方を変えない	1	2	3	4
64	他の人が心配そうにしているときでも、いつも気楽でリラックスしている	1	2	3	4
65	悲しい歌や映画はとても退屈だ	1	2	3	4
66	自分の意志に反することを強いられることがある	1	2	3	4
67	誰かに傷つけられたとき、その人に仕返しするよりも親切にしたい	1	2	3	4
68	自分のしていることに夢中になりすぎて、まわりが全く気にならなくなることもある	1	2	3	4
69	私の人生には意義がないと思う	1	2	3	4
70	他の人が危険を感じないような場合でさえ、慣れない状況では緊張し心配してしまう	1	2	3	4
71	たいていは物事をあまり深く考えず、直感に従う	1	2	3	4
72	私は独立心が強すぎると思われることがある	1	2	3	4
73	自分の周りの全ての人との精神的、あるいは情緒的な強いつながりを感じることもある	1	2	3	4
74	相手の立場になって考えるようにしているので、その人の立場を本当に理解することができる	1	2	3	4
75	私の人生において、公正さとか誠実さというようなことはあまり役に立たない	1	2	3	4
76	他の人より金を貯めるのが上手だ	1	2	3	4
77	何でもきちんと秩序正しく物事をやることにこだわる方だ	1	2	3	4
78	ほとんどすべての社会的な状況下でやっていける自信がある	1	2	3	4
79	自分の内心をめったに人に教えないので、私の気持ちは友達でさえ理解しにくいだろう	1	2	3	4
80	敵の苦しみ様子を想像するのが好きだ	1	2	3	4
81	人よりも精力に溢れていて疲れにくい	1	2	3	4
82	友達から「全てうまく行くよ」と言われても、心配になって、やっていることを途中で中止することがある	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

全然 あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまる	とても あてはまる
1	2	3	4

83	他の人よりも周囲への影響力があればいいのと思う	1	2	3	4
84	チームのメンバーは、自分の正当な分け前をめったにもらえないものだ	1	2	3	4
85	他の人を喜ばせるために特に努力しようという気はない	1	2	3	4
86	初対面の人と会うのは全く恥ずかしくない	1	2	3	4
87	自分の時間のほとんどを、私にとってはそれほど重要ではないが必要なことをするのに費やしている	1	2	3	4
88	道徳上の善悪が、ビジネスに関する決定に大きな影響力を及ぼすとは思わない	1	2	3	4
89	他の人の経験をより良く理解するために、自分自身の判断は考えないようにしている	1	2	3	4
90	私のいつものやり方では、価値のある目的を達成するのが難しい	1	2	3	4
91	世界をより良くするため、戦争や貧困、不正を防ぐよう努力をしている	1	2	3	4
92	誰かが先頭に立って物事を進めるのを待っているのが好きだ	1	2	3	4
93	他の人の意見をいつも尊重する	1	2	3	4
94	私は、自分で定めたいくつかの目的に沿った行動をしている	1	2	3	4
95	他の人の成功を手助けすることは馬鹿げている	1	2	3	4
96	私は深い付き合いを好まない	1	2	3	4
97	悲しい映画を見ると、他の人よりも泣いてしまいやすい	1	2	3	4
98	軽い病気やストレスから回復するのが人よりも早い	1	2	3	4
99	うまく逃げ切れそうだと思うば規則や取り決めなどは無視することがある	1	2	3	4
100	誘惑の多い状況でも自分を信用できるように、良い習慣を培う訓練が必要だ	1	2	3	4
101	他の人が今ほど話をしなければいいのに思うときがある	1	2	3	4
102	たとえ、その人がとるにたらないか、悪い人間にみえたとしても、誰もが尊厳や尊敬をもって扱われるべきである	1	2	3	4
103	やるべきことが出来るように早く決定を下すことが好きだ	1	2	3	4
104	他の人が危険と考えるようなことでも簡単にやってみせる自信がある	1	2	3	4
105	新しい方法を探し求めることが好きだ	1	2	3	4
106	遊びのためにお金を使うよりも、お金を貯め込むほうが好きだ	1	2	3	4
107	神聖ですばらしい霊的な力に触れたように感じた経験がある	1	2	3	4
108	存在する全てのものと一体感を感じ、大いなる喜びの瞬間を経験したことがある	1	2	3	4
109	たいていの人は私より物事に対処するのが上手だ	1	2	3	4
110	自分が全ての生命の源である霊的な力の一部分であると感じることがある	1	2	3	4
111	友達と一緒にいる時でも、あまり心を開きすぎないほうが良い	1	2	3	4
112	私の振る舞いは、今では自分の主義と目的に沿っていると思う	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

全然 あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまる	とても あてはまる
1	2	3	4

113	全ての生物は、完全には説明できない何か霊的な秩序や力に依拠していると信じている	1	2	3	4
114	「ありふれたものを見ているときに、まるでそれを初めて新鮮に見ているような気がする」というような素敵なことが起こることがある	1	2	3	4
115	慣れない事をする場合はたいいてい緊張したり心配したりする	1	2	3	4
116	自分の能力以上にやり遂げようとすることがある	1	2	3	4
117	たとえ、結果的に自分が苦しむことになると分かっている、強い誘惑に打ちかつことはできない	1	2	3	4
118	誰かが苦しんでいるのを見るのは嫌だ	1	2	3	4
119	取り乱している時は、一人でいるよりも友達がそばにいる方が良い	1	2	3	4
120	誰よりも外見が良かったらなあと思う	1	2	3	4
121	古い友達に再会するのと同じくらい、春に花が咲くのがうれしい	1	2	3	4
122	私は難しい局面を私にとっての挑戦や好機だとみなしている	1	2	3	4
123	私のまわりの人は、私のやり方を学ばなくてはならない	1	2	3	4
124	軽い病気やストレスの後でさえも、たいいていの人より元気がある	1	2	3	4
125	スリルがあることを探し求めることが好きだ	1	2	3	4
126	長い間あまりうまく行かない場合でも、よく何遍も同じことを繰り返してやる	1	2	3	4
127	自分でやったことの結果に満足しており、別にこれ以上立派にやりたいとは思っていない	1	2	3	4
128	取り乱したりフラストレーションを感じることはまずない。何かうまく行かない時にはすぐ別のことに切りかえている	1	2	3	4
129	自分が思ったよりも多くの時間がかかりすぎるなら、仕事を放り出してしまうことが多い	1	2	3	4
130	たいいていの人に比べて完全主義者だ	1	2	3	4
131	料金を払わずに映画館に入って、それを誰にも見られないのなら、たぶんそう思う	1	2	3	4
132	たとえ目上の人（上司・先生・親など）の方が正しいと分かっている、反感を感じることも時々ある	1	2	3	4
133	仮病を使ったことがある	1	2	3	4
134	自分の知らないことを知らないと認めることは気にならない	1	2	3	4
135	たとえ自分の気に食わない人にも、いつも礼儀正しく振る舞っている	1	2	3	4
136	自分がしたことについて責任転嫁しようと考えたことなど全くありえない	1	2	3	4
137	人に恩をさせられて、腹を立てたことなど全くない	1	2	3	4
138	人が自分と全く違う考え方をしても、困ったことなど全くない	1	2	3	4
139	人をガミガミ叱り付けたいと思ったことなどほとんどない	1	2	3	4
140	自分の好意をあてにした他人からの依頼に、イライラすることもある	1	2	3	4

お父様用（お子様が30歳～3歳）

全然 あてはまらない	あまり あてはまらない	少し あてはまる	とても あてはまる
1	2	3	4

141	気が短い	1	2	3	4
142	怒りっぽい	1	2	3	4
143	せっかちである	1	2	3	4
144	他人のまちがいで自分が遅れたりすると腹を立てる	1	2	3	4
145	よい事をしたのにみとめられないといらいらする	1	2	3	4
146	すぐかっとなる	1	2	3	4
147	怒るといじわるなことをいう	1	2	3	4
148	人の前で非難されたりすると怒りを感じる	1	2	3	4
149	自分のしたい事ができないと誰かをたたきたくなる	1	2	3	4
150	よい事をしてほめられないとはらがたつ	1	2	3	4

この頁の上に書いてある 141～150 のようなことがあったら、あなたは誰かにしかられるのではないかと大変不安になりますか？	全くない	ほとんどない	時々 そうなる	いつも そうなる
この頁の上に書いてある 141～150 のようなことがあったら、あなたは自分の気持ちの中で罪悪感に苦しみますか？	全くない	ほとんどない	時々 そうなる	いつも そうなる

あなたが普通怒ったり腹を立てたりするときの様子について教えてください。

151	腹を立てたりしないでもまんする	1	2	3	4
152	人に皮肉なことをいう	1	2	3	4
153	自分の行動を押さえたり止めたりする	1	2	3	4
154	誰にも言えないうらみをいやくようになる	1	2	3	4
155	外から見ると実には自分も怒っている	1	2	3	4
156	くちぎたないことをいう	1	2	3	4
157	はたの人が思うよりも、はるかにいらだっている	1	2	3	4
158	落ち着きをうしななってふきげんになる	1	2	3	4
159	自分ではらだたい気持ちをしずめる	1	2	3	4

最近のご様子について

ここでは、あなたが最近どのように感じているかをお尋ねします。次の14の設問について4つの答のうち、あなたのこの1週間の御様子に最も近いものに○をつけて下さい。

あなたはこの1週間に...

- 1** 緊張感を感じますか？
- 1) ほとんどいつもそう感じる
 - 2) たいていそう感じる
 - 3) 時々そう感じる
 - 4) 全くそう感じない
- 2** 以前楽しんでいたことを今でも楽しめますか？
- 1) 以前と全く同じ位楽しめる
 - 2) 以前より楽しめない
 - 3) 少ししか楽しめない
 - 4) 全く楽しめない
- 3** まるで何かひどいことが今にも起こりそうな恐ろしい感じがしますか？
- 1) はっきりあって、程度もひどい
 - 2) あるが、程度はひどくない
 - 3) わずかにあるが、気にならない
 - 4) 全くない
- 4** 笑えますか？ いろいろなことのおかしい面が理解できますか？
- 1) 以前と同じように笑える
 - 2) 以前と全く同じようには笑えない
 - 3) 明らかに以前ほどには笑えない
 - 4) 全く笑えない
- 5** くよくよした考えが心に浮かびますか？
- 1) ほとんどいつもある
 - 2) たいていある
 - 3) 時にあるが、しばしばではない
 - 4) ほんの時々ある
- 6** 機嫌（きげん）が良いですか？
- 1) 全くそうでない
 - 2) しばしばそうではない
 - 3) 時々そうだ
 - 4) ほとんどいつもそうだ

- 7** のんびり腰かけて、そしてくつろぐことができますか？
- 1) できる
 - 2) たいていできる
 - 3) しばしばではない
 - 4) 全くできない
- 8** まるで考えや反応がおそくなったように感じますか？
- 1) ほとんどいつもそう感じる
 - 2) たいへんしばしばにそう感じる
 - 3) 時々そう感じる
 - 4) 全くそう感じない
- 9** 胃が気持ち悪くなるような一種おそろしい感じがしますか？
- 1) 全くない
 - 2) 時々感じる
 - 3) かなりしばしば感じる
 - 4) たいへんしばしば感じる
- 10** 自分の身なりに興味を失いましたか？
- 1) 明らかにそうだ
 - 2) 自分の身なりに十分な注意を払っていない
 - 3) 自分の身なりに十分な注意を払っていないかもしれない
 - 4) 自分の身なりに十分な注意を払っている
- 11** まるで始終動きまわっていないかそれほど落ちつきがないですか？
- 1) 非常にそうだ
 - 2) かなりそうだ
 - 3) 余りそうではない
 - 4) 全くそうではない
- 12** これからのことが楽しみにできますか？
- 1) 以前と同じ程度にそうだ
 - 2) その程度は以前よりやや劣る
 - 3) その程度は明らかに以前より劣る
 - 4) ほとんど楽しみにできない
- 13** 急に不安に襲われますか？
- 1) 大変しばしばそうだ
 - 2) かなりしばしばにそうだ
 - 3) しばしばではない
 - 4) 全くそうでない
- 14** 良い本やラジオやテレビの番組を楽しめますか？
- 1) しばしばそうだ
 - 2) 時々そうだ
 - 3) しばしばではない
 - 4) ごくたまにしかない

今までのご経験について

これまでの人生のなかで、あなたの気分が減入ったり落ち込んだりすることがあったのか、また、それはどんな状態であったのかについて伺います。

1. 各項目の文章をよく読んで下さい。そして今までの人生でもっとも悲しく沈んだ気分となった時、ご自分が感じていたことを「ハイ」か「イイエ」に○で囲んでお答え下さい。
2. 各質問で「ハイ」を○で囲んだ方は、そのように感じたことが2週間以上続いたかどうか答えて、そのどちらかに○をつけてください。

	今までの人生で			どれくらい続きましたか？
1	時おり、悲しかったり気が沈んだ	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
2	時々、ふだんより少し元気でなくなった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
3	いつもより少しそわそわと落ち着かないことがあった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
4	話し方が、ふだんより少しゆっくりだった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
5	ふだんの日常生活のうち1つか2つについて、いつもほど興味がもてなかった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
6	ふだんの日常生活のうち1つか2つについては、いつもほど楽しめなかった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
7	いつもより異性への関心が少しだけ低下した	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
8	時おり、自分を責めたり、罪責感を感じるがあった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
9	時おり、人生は生きるに値しないと思った	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
10	いつもより少し集中力がなかった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
11	日常生活において決断するのが少し難しかった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
12	いつもより少し食欲がなかった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
13	食欲がいつもより増加した	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
14	時おり、少し眠れない日があった	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
15	時おり、ふだんより多く眠った	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下
16	時おり、いつもより少しイライラした	ハイ	イイエ	1 2週間以上 2 2週間以下

ご自身が子どものころのことについて

- 1** あなたのお父（養父）様は現在ご健在（ご存命）ですか？
- 1) はい → 現在おいくつですか（ ）歳 **2** へ飛んで下さい
- 2) いいえ → お父様が亡くなられたのは...
あなた自身が（ ）歳の時
事情をお書き下さい

- 2** あなたが15歳以前にお父様から1年以上続けて別れて暮らされたことがありますか？ [死別は含みません]
- 1) いいえ → 次頁へ飛んでください
- 2) はい → お父様から別れて暮らされたことは...
全部で（ ）回あった
一番最初に経験したのは
あなた自身が（ ）歳の時
事情をお書き下さい

- 3** あなたのお母様は現在ご健在（ご存命）ですか？
- 1) はい → 現在おいくつですか（ ）歳 **4** へ飛んで下さい
- 2) いいえ → お母様が亡くなられたのは...
あなた自身が（ ）歳の時
事情をお書き下さい

- 4** あなたが15歳以前にお母様から1年以上続けて別れて暮らされたことがありますか？ [死別は含みません]
- 1) いいえ → 次頁へ飛んでください
- 2) はい → お父様から別れて暮らされたことは...
全部で（ ）回あった
一番最初に経験したのは
あなた自身が（ ）歳の時
事情をお書き下さい

あなたのお父様について

次に、あなたが子どもの頃に、あなたのお父様がどのような人だったかについて伺います。ご自分が15歳までの記憶をもとに、以下の25の設問について、4つの答のうちからひとつを選んで、その数字を○で囲んで下さい。

全く該当しない	あまり 該当しない	やや 該当する	該当する
1	2	3	4

私の父は...

1	暖かく優しい声で話しかけてくれた	1	2	3	4
2	必要なほどには手助けしてくれなかった	1	2	3	4
3	好きなことをさせてくれた	1	2	3	4
4	私に対して冷たかった	1	2	3	4
5	私が抱えている問題や悩みに理解を示してくれた	1	2	3	4
6	私に対して優しくかった	1	2	3	4
7	自分で意思決定するのを好ましく思ってくれた	1	2	3	4
8	大人びてくるのを喜ばなかった	1	2	3	4
9	私がしようとする事を、総てにわたってコントロールしようとした	1	2	3	4
10	わたしのプライバシーを侵害した	1	2	3	4
11	私といろいろな事を話すのを楽しんでいた	1	2	3	4
12	よく私に微笑みかけてくれた	1	2	3	4
13	私を子ども扱いすることが多かった	1	2	3	4
14	私が必要なことや望んでいることに、理解を示さなかった	1	2	3	4
15	物ごとを私に任せてくれた	1	2	3	4
16	私に、自分は望まれていない子だと思わせた	1	2	3	4
17	精神的に不安定なときは、なだめてくれた	1	2	3	4
18	あまり私と喋らなかった	1	2	3	4
19	私を父親に頼らせようとしていた	1	2	3	4
20	父親がそばにいないと自分のことができない子だ、と私の事を考えていたらしい	1	2	3	4
21	できるかぎり自由にさせてくれた	1	2	3	4
22	好きなときに外出させてくれた	1	2	3	4
23	過保護だった	1	2	3	4
24	褒めてくれなかった	1	2	3	4
25	私が好きな服を着せてくれた	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

同じように、あなたが子どもの頃に、あなたのお父様がどのような方だったかについて伺います。ご自分が15歳までの記憶をもとに、以下の設問について、5つの答のうちからひとつ選んで、その数字を○で囲んで下さい。

決してそうは 思わない	そうは 思わない	どちらとも いえない	そう思う	非常に そう思う
1	2	3	4	5

私の父は・・・・・・・・

1	いったん家庭の方針が決まると、父はなぜそうするのかについて子供と話しあった	1	2	3	4	5
2	私が家庭の決まりやしてはいけないことに納得がいかないと感じるとき、父はいつも言葉でお互いの意見を話し合うのがよいとしていた	1	2	3	4	5
3	父は子供を躾けたり正しい考え方を教えるつもりで、子供がすることや決めることを指図した	1	2	3	4	5
4	私は父が家庭での私に何を期待しているかを知っているが、私とその期待に納得がいかないと感じるときには、そのことについて父と率直に話し合うこともできた	1	2	3	4	5
5	父はいつでも筋の通った客観的なやり方で子供を指示したり教えたりしていた	1	2	3	4	5
6	父は、家族として何かを決めるときには、子供の意見を尊重してくれたが、ただ子供が望んでいるからというだけでそれを決めようとはしなかった	1	2	3	4	5
7	父は自分の子供についての明確な行動基準を持っているが、それを子供たち一人ひとりの要望に積極的に合わせようという気持ちがあった	1	2	3	4	5
8	父は私の行動や私のすることを指示し、私がそれに従うことを期待していたが、いつでも積極的に私の気がかりを聴いて、その指示について一緒に話し合う気持ちがあった	1	2	3	4	5
9	父は私の行動ややることをはっきりと指示したが、私がそれに同意しないときには理解を示してくれた	1	2	3	4	5
10	父の家庭内での判断が私を傷つけた時は、父はその判断について積極的に私と話し合い、もし父が間違っていたのであればそれを認める気持ちがあった	1	2	3	4	5

あなたのお母様について

次に、あなたが子どもの頃に、あなたのお母様がどのような人だったかについて伺います。ご自分が15歳までの記憶をもとに、以下の25の設問について、4つの答のうちからひとつを選んで、その数字を○で囲んで下さい。

全く該当しない	あまり該当しない	やや該当する	該当する
1	2	3	4

私の母は...

1	暖かく優しい声で話しかけてくれた	1	2	3	4
2	必要なほどには手助けしてくれなかった	1	2	3	4
3	好きなことをさせてくれた	1	2	3	4
4	私に対して冷たかった	1	2	3	4
5	私が抱えている問題や悩みに理解を示してくれた	1	2	3	4
6	私に対して優しくかった	1	2	3	4
7	自分で意思決定するのを好ましく思ってくれた	1	2	3	4
8	大人びてくるのを喜ばなかった	1	2	3	4
9	私がしようとする事を、総てにわたってコントロールしようとした	1	2	3	4
10	わたしのプライバシーを侵害した	1	2	3	4
11	私といろいろな事を話すのを楽しんでいた	1	2	3	4
12	よく私に微笑みかけてくれた	1	2	3	4
13	私を子ども扱いすることが多かった	1	2	3	4
14	私が必要なことや望んでいることに、理解を示さなかった	1	2	3	4
15	物ごとを私に任せてくれた	1	2	3	4
16	私に、自分は望まれていない子だと思わせた	1	2	3	4
17	精神的に不安定なときは、なだめてくれた	1	2	3	4
18	あまり私と喋らなかった	1	2	3	4
19	私を母親に頼らせようとしていた	1	2	3	4
20	母親がそばにいないと自分のことができない子だ、と私の事を考えていたらしい	1	2	3	4
21	できるかぎり自由にさせてくれた	1	2	3	4
22	好きなときに外出させてくれた	1	2	3	4
23	過保護だった	1	2	3	4
24	褒めてくれなかった	1	2	3	4
25	私が好きな服を着せてくれた	1	2	3	4

お父様用（お子様が0歳～3歳）

同じように、あなたが子どもの頃に、あなたのお母様がどのような方だったかについて伺います。ご自分が15歳までの記憶をもとに、以下の設問について、5つの答のうちからひとつ選んで、その数字を○で囲んで下さい。

決してそうは 思わない	そうは 思わない	どちらとも いえない	そう思う	非常に そう思う
1	2	3	4	5

私の母は・・・・・・・・

1	いったん家庭の方針が決まると、母はなぜそうするのかについて子供と話しあった	1	2	3	4	5
2	私が家庭の決まりやしてはいけないことに納得がいかないと感じるとき、母はいつも言葉でお互いの意見を話し合うのがよいとしていた	1	2	3	4	5
3	母は子供を躾けたり正しい考え方を教えるつもりで、子供がすることや決めることを指図した	1	2	3	4	5
4	私は母が家庭での私に何を期待しているかを知っているが、私はその期待に納得がいかないと感じるときには、そのことについて母と率直に話し合うこともできた	1	2	3	4	5
5	母はいつでも筋の通った客観的なやり方で子供を指示したり教えたりしていた	1	2	3	4	5
6	母は、家族として何かを決めるときには、子供の意見を尊重してくれたが、ただ子供が望んでいるからというだけでそれを決めようとはしなかった	1	2	3	4	5
7	母は自分の子供についての明確な行動基準を持っているが、それを子供たち一人ひとりの要望に積極的に合わせようという気持ちがあった	1	2	3	4	5
8	母は私の行動や私のすることを指示し、私がそれに従うことを期待していたが、いつでも積極的に私の気がかりを聴いて、その指示について一緒に話し合う気持ちがあった	1	2	3	4	5
9	母は私の行動ややることをはっきりと指示したが、私がそれに同意しないときには理解を示してくれた	1	2	3	4	5
10	母の家庭内での判断が私を傷つけた時は、母はその判断について積極的に私と話し合い、もし母が間違っていたのであればそれを認める気持ちがあった	1	2	3	4	5

基本的な情報について

1 あなたのお年は何歳ですか？

_____歳

2 現在の結婚状況をお教え下さい

- 1) 結婚（同棲を含む）している
- 2) 結婚しているが別に住んでいる
- 3) 離婚した（複数の結婚歴であれば最後のもの） それは_____年前
- 4) 死別した（複数の結婚歴であれば最後のもの） それは_____年前

3 おたずねしているお子様のお年は何歳ですか？

_____歳 _____ヶ月

性別 1) 男性 2) 女性

4 おたずねしているお子様をこれまで育てられてどんな感想をお持ちでしょうか？

- 1) 非常によかった
- 2) よかった
- 3) 想像していたほど大変ではなかった
- 4) まあまあこんなものだろうと思っている
- 5) 想像していたよりも大変だった
- 6) よくなかった
- 7) 後悔している

5 おたずねしている（本日受診なされた）お子様にはごきょうだいがおられますか？

兄 _____名 弟 _____名
姉 _____名 妹 _____名

**アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。**

青年期の対人的怒り感情

—男子高校生の怒り対象、動機、人格要因に関する予備的分析—

分担研究者

大淵憲一

東北大学大学院文学研究科人間科学専攻

研究要旨

青年期の人間関係の特徴を対人感情の観点から理解するために、男子高校生の怒りの経験を質問紙によって調査した。彼らは、家族、友人、教師など身近な人に対して怒りを感じることが多かった。怒りの主たる原因は、自由や地位が脅かされたとか危害を加えられたと感じることだった。怒ったとき、生徒の多くは（85%）攻撃反応を示し、成人と比べて暴力反応が比較的多かった。暴力反応は自由や地位が脅かされたと感じたとき生じるが、これは短気で感情制御の低い生徒によく見られた。間接的攻撃は危害を受けたと感じたときに動機づけられたが、これは猜疑心や被差別感など敵対的な対人認知傾向のある生徒に見られた。

A. 研究目的

我々は、青年期の人間関係の特徴を対人感情の観点から理解するために、彼らの怒り経験に注目した。その理由は、怒りが人間関係において期待や願望に反する不快事象（対人葛藤）に遭遇した時に起こる感情反応の一つであること、それ故、怒りは対人関係の本質的な側面を反映するものであること、また、この感情に対する対処は対人関係の質に対して重要な影響を与えることなどである。本研究では、まず、男子高校生を対象に怒り経験の実態を把握することを目的に質問紙調査を行った。この際、併せて攻撃反応の生起メカニズムの検討を試みた。

怒り経験の中で、個人はその不快事象を解消することに動機づけられるが、喚起される動機のタイプによって攻撃反応が規定される。代表的な攻撃関連動機は、回避・防衛、影響・支配、制裁・報復、同一性などである（大淵, 1993）。これらの攻撃動機は、怒りに含まれる不快要因を個人がどのように認知するかに依存して（原因認知）、強められる。我々は攻撃動機を強める4種類の原因認知を表1のように仮定した。

怒りや攻撃反応には個人差があり、これに関連した人格特性は「攻撃性」と総称される。しかしこれは多面的特性である。大淵ほか（1994）は反応傾向、対人認知特性、情動特性、欲動特性など

に注目して自記式攻撃性評定表SRASを作成した。このうち本研究では、敵対的認知、敵対的態度、攻撃情動、サディズムを取り上げて、怒り経験との関連を検討した。

攻撃情動ではないが、不安や恐れなどの負の情動を持ちやすい情緒不安定傾向も攻撃反応との結びつきが指摘されている人格特性である（Brisette & Cohen, 2002）。そこで、本研究ではBig Five（村上・村上, 2001）からこの次元を取り上げた。

いじめの研究をしているRoland & Idsøe（2001）はいじめに関連した2種類の攻撃動機をあげている。男子では支配欲求に動機づけられたパワー攻撃性、女子では仲間の凝集性を目指した親和攻撃性がいじめの動機となることが多いことを見いだした。本研究では、これら2つの攻撃動機を測定し、怒り経験との関連を検討する。

B. 研究方法

仙台市内にある私立高校の男子1年生258名を対象に2002年12月調査を実施したが、回答の信頼性が低いものを除き、202名分のデータを分析対象とした。

怒りの対象：過去6週間に7対象人物（親、他の家族、教師、生徒、友だち、学外の知り合い、街の人）に対して経験した怒り頻度を5段階評定

させた(0「まったくない」～4「ほとんど毎日」)。

怒りの原因認知：危害、挑戦、不正、軽視を測る14項目を5段階評定させた(0「ほとんどない」～4「ひんばんにあった」)。

怒りの反応：暴力、言語的攻撃、間接的攻撃を測る10項目、及び、比較のために建設的反応(対話)を測る2項目を5段階評定させた(同上)。

攻撃関連の人格特性：大淵ほか(1993)より敵対的認知、敵対的態度、攻撃情動、サディズムの項目、村上・村上(2001)より情緒不安定項目、Roland & Idsøe(2001)よりいじめ関連の攻撃タイプをはかる合計31項目を5段階評定させた(0「まったくない」～4「よくあてはまる」)。

研究に用いた項目例は表2に示している。

C. 結果と考察

全体的傾向：怒り経験の実態

対象別に「まったくない」以外の回答をした生徒の割合を示したものが表3である。これを見ると、親や家族、友人など親密な対象に対して怒りを感じる経験が多いことが分かる。親密な他者とは接触頻度が高く被害を受ける機会が多いこと、個人的な問題に関与し合うことが多いために、他の人ではなんとも感じないのに親しいが故に腹が立つということがあること、また、親しい人には多くの期待を向けているために不満に思うことも多くなる、などの理由が考えられる。

表4は原因認知別に項目平均値を示したものである。生徒たちは人から危害を受けたとか、自由や地位を脅かされたと感じるときに(挑戦)、怒りを感じるが多かった。これらによって、彼らは自分の利益を守らなければならないといった回避・防衛の攻撃動機、あるいは、人を従わせたいとか、人に負けたくないなどの影響・支配の攻撃動機付けを抱いたものと推測される。

怒りの反応については、各反応タイプを測る項目のどれかに「あった」と回答した生徒の割合を算出した。表5に示されているように、全体としては言語的攻撃や間接的攻撃が多かったが、暴力的反応を示したものも約半数見られた。本研究の対象者となった男子高校生の84.7%が怒ったときに何らかの攻撃反応を示した。成人のデータは20年前のもので尺度も違い、単純に比較はできないが(大淵・小倉, 1984)、男子高校生は成人に比べて暴力的反応が多いことがうかがわれる。

原因認知と怒り反応の関係

怒りの原因認知と攻撃反応(タイプ別合計頻度)の間にはすべて正の有意な相関がみられたので

(.26～.53, $p<.01$)、どの原因認知もすべてのタイプの攻撃反応を促したと言えよう。

原因認知による攻撃反応の回帰分析を行った結果が表6である。暴力的反応は、特に、自由や地位が脅かされたと感じたとき生じやすかった。また、間接的攻撃は強い危害を受けて、防衛的な気持ちになった時にとられる行動であることが示唆されている。言語的攻撃に対しては多様な原因認知と結びついているが、これが怒りによって言語的攻撃が最も頻繁に動機づけられる理由と思われる。

攻撃関連の人格特性

表7は攻撃関連の人格特性の得点(項目平均値)である。尺度の midpoint は2なので、これらの人格特性は情緒不安定を除いて総じて低かったと言えよう。その中では、敵対的対人認知や対人態度が相対的に高く、それはこの年代の男子の特徴なのかもしれない。攻撃的情動は低いが情緒不安定は相対的に高く、不安や恐怖などの負的情動を経験しやすい生徒がいることを示唆している。また、いじめ関連の攻撃動機(パワー攻撃性と親和攻撃性)も全体に低かった。

攻撃関連の人格特性と怒りの経験

本研究で取り上げた人格特性は、怒りの原因認知および攻撃反応と正の相関があった(原因認知との相関 $r=.13\sim.50$ 、一つを除いてすべて $p<.05$ 、攻撃反応との相関 $r=.11\sim.41$ 、2つを除いてすべて $p<.05$)。こうした人格特性を持つ生徒たちは怒り感情に関連した対人認知をもちやすいこと、また、怒った際に攻撃的に反応しやすいことを示している。

心理学的には、攻撃関連の人格特性は怒りの原因認知を促すことによって攻撃反応を促進すると仮定することができるので、攻撃反応タイプ別に回帰分析によるパス解析を試みた。図1は、攻撃情動を持ちやすい生徒が自由や地位に対する脅威を知覚しやすく、これによって暴力反応が促されることを示唆している。攻撃情動は直接にも暴力反応を促進しているのが、これは彼らの自己制御の困難さを示唆するものと思われる。

間接的攻撃は主として危害認知によって動機づけられたが、猜疑心や被差別感など人に対して敵対的見方をする生徒が人から危害を加えられていると思ひやすかった。情緒不安定ですぐに不安や恐怖にとらわれやすい生徒も危害認知が強かったが、これは彼らが他の生徒よりも危害を強く感じるせいと思われる。これらの特性は自己防衛的な気持ちを強めるが、間接的攻撃がとられやすいのは、彼らの不安や被害感のせいと思われる。

図1が示すように、言語的攻撃には不正認知も関与していた。これに対して、人格要因としては敵対的認知とサディズムが有意な効果を示した。敵対的認知は自分を被害者とする傾向なので、この特性を持つ生徒は「相手が悪い」と不正認知を持ちやすいことは理解できる。しかし、サディズムとこの原因認知の関係は不明である。

7対象に対する怒りの強さの合計を求め、対人怒りの総量とした。すべての人格特性は怒り総量と低い正の相関を示したので、こうした特性を持つ生徒は人に対して怒りを感じない傾向があると言えよう。表8は、人格特性によって怒りの総量を回帰させたものである。これを見ると、攻撃情動とサディズムの影響が強く、前者はかっとなりやすいこと、後者は攻撃や破壊に関心があり、それらにとらわれていることを意味している。

E. 引用文献

- Brisette, I. & Cohen, S. (2002). The contribution of individual differences in hostility to the associations between daily interpersonal conflict, affect, and sleep. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 28, 1265-1274.
- 村上宣寛・村上千恵子 (2001). 主要5因子性格検査ハンドブック. 学芸図書.
- 大淵憲一 (1993). 人を傷つける心. サイエンス社.
- 大淵憲一・北村俊則・織田信男・市原真紀 (1994). 攻撃性の自己評定法: 文献展望. 精神科診断学, 5, 443-455.
- Roland, E. & Idsøe, T. (2001). *Aggression and bullying. Aggressive Behavior*, 27, 446-462.
- 大淵憲一・小倉左知男 (1984). 怒りの経験(1): Averill の質問紙による成人と大学生の調査概況. 犯罪心理学研究, 22, 15-35.

表1 怒りの原因認知と攻撃動機

怒りの原因認知	攻撃動機
危害：人から被害を受けた	回避・防衛
挑戦：人から自由や地位を脅かされた	影響・支配
不正：人が正しくないことをした	制裁・報復
軽視：人から軽んじられた	同一性

表2 質問項目例

<p>原因認知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじわるをされたと感じて、腹が立った(危害)。 ・相手が偉そうな態度をしたので、腹が立った(挑戦)。 ・相手の考え方ややり方が間違っていると思って、腹が立った(不正)。 ・相手が、自分の気持ちに気づいてくれなかったので、腹が立った(軽視) <p>怒りの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっとなって、つい、暴力をふるってしまった(暴力)。 ・相手に、直接、文句を言った(言語的攻撃)。 ・相手をにらみつけた(間接攻撃)。 ・穏やかに、自分の気持ちを相手に伝えた(対話)。 <p>人格特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人たちが陰であれこれ言っているのは分かっている(敵対的認知)。 ・ずきのある人を利用して、責められない(敵対的態度)。 ・興奮すると、いかりが抑えられない(攻撃衝動)。 ・ときどき、悪いことや人をおどろかすようなことをしたくなる(サディズム)。 ・緊張してイライラすることがよくある(情緒不安定)。 ・人を怖がらせて、言うことをきかせるのが好きだ(パワー型攻撃性)。 ・だれかをからかうことによって、仲間の結束力が強まる(親和型攻撃性)。

表3 対象別怒りの経験者の割合(%)

親	多の家族	友人	生徒	教師	学外の知人	見知らぬ人
78.7	59.9	64.7	63	66.2	37.5	43.8

注) 過去6週間以内に、その対象に対して一度でも怒りを感じたことがあると回答した生徒の割合

表4 怒りの原因認知：項目平均値

危害	挑戦	不正	軽視
.77	.65	.57	.34

表5 怒り反応を示した生徒の割合(%)：成人との比較(大淵・小倉, 1984)

	暴力	言語攻撃	間接攻撃	対話
男子学生	50.5	61.4	68.3	35.6
成人	7	54	53	38

表6 原因認知による攻撃反応の回帰：有意なβ

	暴力	言語的攻撃	間接攻撃
危害		.19*	.41**
挑戦	.25**	.25**	
不正		.25**	.19**
軽視			
R ²	.18**	.25**	.32**

表7 攻撃関連の人格要因の平均得点

敵対的認知	敵対的態度	攻撃情動	情緒不安的	サディズム	パワー攻撃性	親和攻撃性
1.58	1.61	1.10	1.75	.95	.99	.72

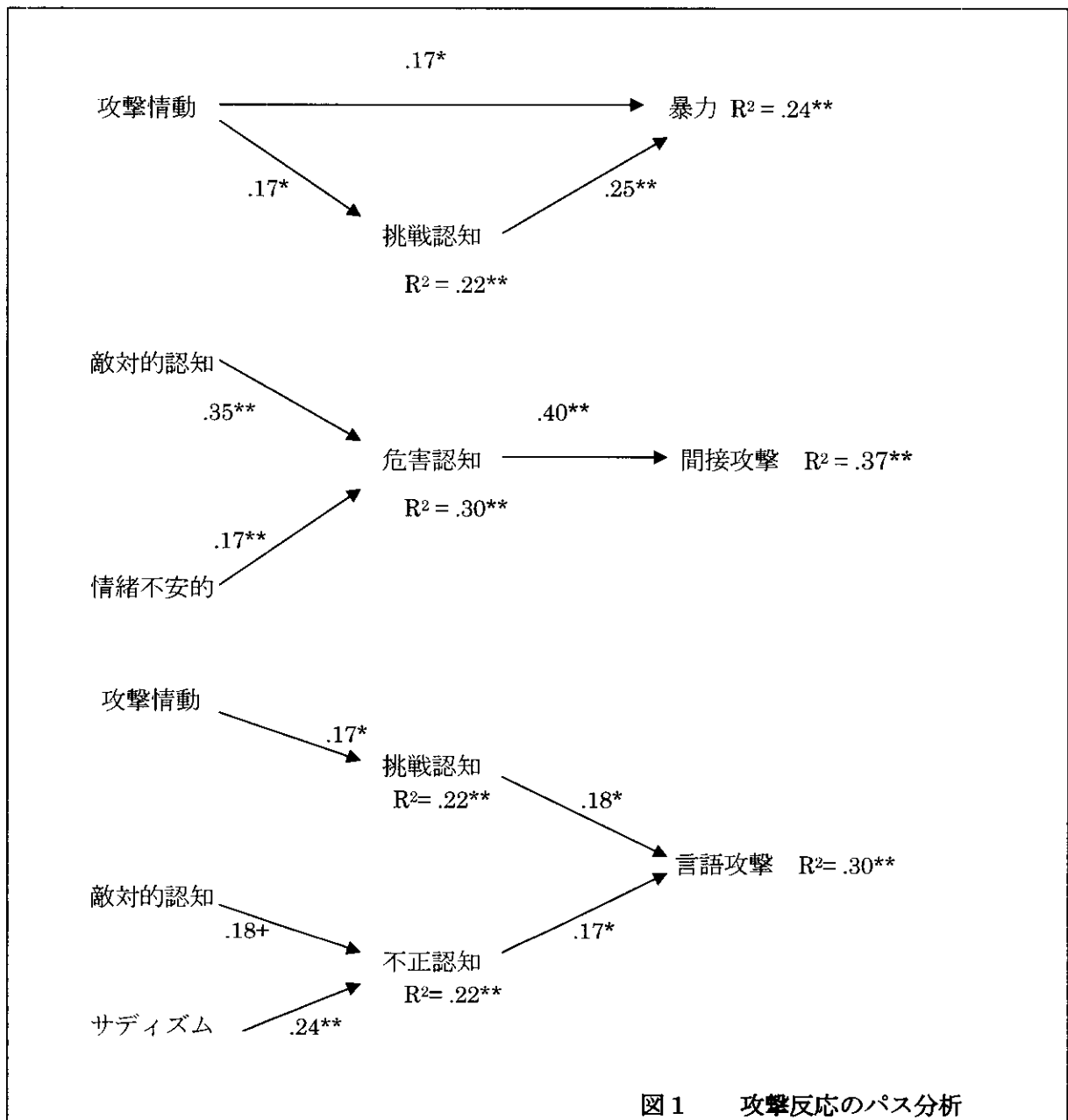


図1 攻撃反応のパス分析